

# 木知原の今昔！

36号：6・4・5

いっしょに



♡ 私事で失礼！  
チャボが成長し日に  
何度もダッコをねだ  
ります。これ程  
なつくとは！

**道** 端の草花！とさりげなく言いますが、  
日々多忙でじっくり観察することはあまり出来ないのではないのでしょうか。

今号からはご存じの山野草ばかりですが季節を通じて「木知原の今昔」に関わりながら紹介  
します。私も素人ですので一緒に楽しみましょう。(写真は全て地内で撮影：今後の写真も)



## 👉 早春の山野草 (三種)

カタクリも有力候補？  
三にこだわってパス…

### 🌸 オオイヌノフグリ

### 🌸 コバイモ



**野** の春一番は、オオイヌノフグリでしょう。  
花は小型であるが畔や土手一面に咲き  
広がる美しさは人目をひく美しさである。

- 🌸 花の寿命は僅か一日と短い次々と開花し  
2月から6月までと花期は長いのが特徴。
- 🌸 二つの実が合わさった形を“犬の陰囊”に見  
立てての名であるが誰が名付けたのでしょう。  
これが和名(漢字)の面白さかな！

📖 現在目にする花は明治の初めにヨーロッパ  
から帰化した種類で日本古来の花は「イヌフ  
グリ」と呼び小型である。

**山** の春一番は、コバイモでしょう  
花が渋くてかわいいことから  
“春の妖精”との別名がある。

- 🌸 東山や倉野林道脇に自生していたが今は  
全く見られなくなった。
- 🌸 背丈10cm・花は釣鐘状でつい中がのぞき  
たくなる花である。(盗撮：セクハラになる?)
- 🌸 花の期間は3~4月と短く夏には休眠に入  
るため地上部は見られなくなる
- 🌸 名は球根の貝を合わせた形が、母が子を  
抱く姿に似ていることから“小貝母”と表記

### 🌸 シュンラン



### 🌸 春蘭 (ジジババ・ホクロ)

- 🌸 名の通り早春に咲く日本古来の野生ランで春蘭。
- 🌸 林道沿いに群生していたが今は余り見られない。
- 🌸 子供の頃「ホークロジッサ」と呼んでいたが「ジジババ」の語源は花姿  
をよく見ると、上に「おばあさんが“ほっかむり”」下に「おじいさんの  
“白いヒゲ”」があるように見えることからの名！じっくり眺めて…

※気候変動・植林・乱獲などで絶滅危惧種も多いが木知原はまだ  
まだ自然豊かである。(名前の由来や和名の面白さにこだわりながら観賞しましょう)